



## 物流機能を優先して復旧、 昨年4月8日に出荷再開

昨年3月11日の東日本大震災で大きな被害を受けた福島県本宮市のアサヒビール(株)福島工場は、アサヒビール全9工場の生産量の14%を製造している主力工場であると同時に、アサヒビールの製品を始めグループ会社の飲料・酒類等を受入れ福島工場の製品と積み合わせて東北6県等に供給する物流センター機能(福島物流センター)を持ち合わせた工場でもあります。

加賀美昇工場長は、被災して生産設備も物流機能もずたずたになった状況を見て「生産設備・物流設備の双方に手を付けるのではなく、まずは物流機能の復旧に力を入れよう」と決断しました。

工場の全社員で倉庫等の片付けに取り掛かった結果、4月7日には他工場から製品を受け入れられるようになり、翌8日には出荷を再開しました。また4月17日には兵庫の西宮工場等から製品が鉄道コンテナで到着するようになりました。

「郡山貨物ターミナル駅に鉄道コンテナが到着するのを見ると物資が東北に入って来ることを実感できて心強く感じました」と加賀美工場長は当時の心境を吐露しました。



加賀美工場長



工場全景



## 震災直後は新潟に臨時の配送センターを設置し、供給体制を変更



佐藤センター長

アサヒビール(株)では、商品を90%以上の比率で配送センターを介さずに卸店などの顧客へ直送しています。福島工場でも従来から顧客のオーダーに従い、ビール・焼酎・清涼飲料水等々をトラックや鉄道コンテナに積み合わせて出荷しています。鉄道コンテナで出荷するエリアには5t単位、トラックで出荷するエ

リアには10t単位での直送です。

4月に出荷を再開したものの、福島物流センターの出荷エリアは絞り込まざるを得ませんでした。佐藤大志センター長は「当初は福島県を中心に宮城県まで、群馬・栃木県には茨城工場から、秋田・山形・岩手県には急きょ新潟に設置した配送センターから、青森県には北海道工場からの出荷に切り替わりました」と説明しました。

## 今、出荷エリアは東北一円に

「その後、福島物流センターの出荷エリアは徐々に広がり、現在は青森の一部及び秋田へは鉄道コンテナ、岩手・山形・宮城・福島・新潟へはトラックで出荷しています」(佐藤センター長)。

総務部の青木文造部長によると、出荷を再開した構内は「生産ラインは静かなのに出荷場は賑やか」という状態でした。もともと福島で生産していた商品も他工場から受け入れるので、夏場の出荷最盛期は取扱量が以前の倍です。物流実務を預かるアサヒロジ(株)北海道・東北支社の菊地一彦支社長は「クルマの



青木部長



菊地支社長

入場する時間帯については、通常時からスケジューリングをしっかり立てるように」との要請を受けて「被災前は製造エリアに入っていた社員にも物流業務の補佐をやってもらったので、受入れと払い出しをうまくできたと思います」と振り返りました。

一方、生産量が急に増えた他工場には、福島工場の社員やアサヒロジの社員が派遣されました。フォークリフトをオペレータ付きで派遣したこともありました。「これをできたのも社員が皆無事だったからです」と加賀美工場長は、異

常な環境下でも普通のルールを崩さず着実に作業を行ったことで復旧が進んだこと、安全第一が何より大事だと強調しました。倉庫内で倒れて潰れた缶ビールなども、1本ずつ缶から製品を抜き取り排水処理を行うのですが、当初は排水設備も壊れていたため、処理は秋までかかりました。

## 11月、念願の生産再開

そして建物の修復を終え廃棄品の処理も完了した11月、漸く一部製造ラインを復旧して「スーパードライ」「本生アクアブルー」の生産再開を果しました。当面、出荷先は福島県内ですが「今後はおお客様にご理解ご納得いただくことを積み上げながら、生産品種と販売エリアの拡大を図りたいと考えています」と加賀美工場長は口元を引き締めました。



福島工場の製造商品

アサヒビールは福島工場で製造した商品1本につき1円を福島の復興支援に活用する「ふくしまプロジェクト」を展開している。



他工場から受け入れた製品置き場



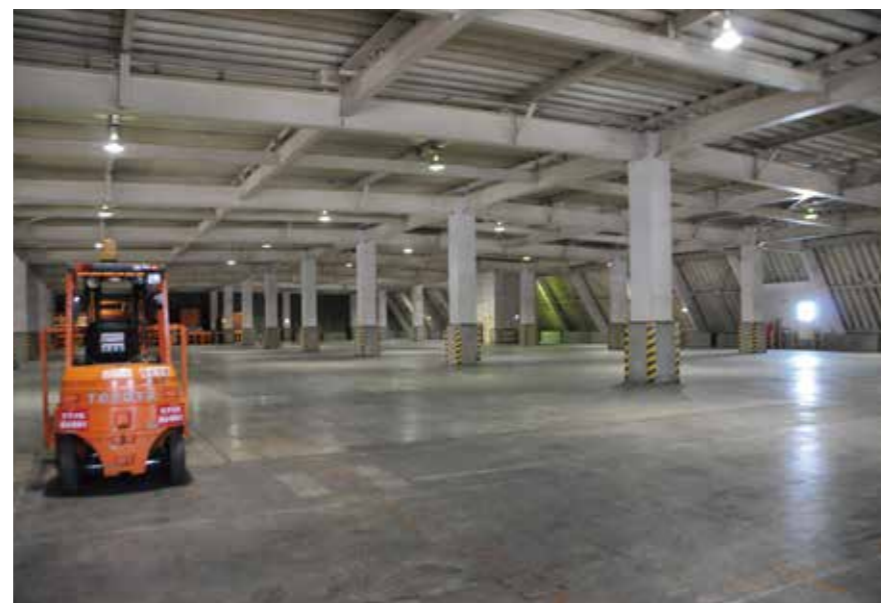
コンテナに積み合わせる各種製品



青森県内の顧客向け製品の鉄道コンテナ積み



被災直後の倉庫の状態



片付けて体育館ようになった倉庫4階部分



郡山(タ)へ



アサヒロジ(株)は利用運送事業者の日本通運(株)に対して鉄道コンテナで到着する製品を郡山貨物ターミナル駅でトラックに積み替えて納入するよう要請しています。一方、出荷する製品はできる限り出荷場が空いている時間帯に集荷を依頼、また製品を届けてきた鉄道コンテナには極力出荷製品などの帰り荷を載せてもどしています。



注意書き標差しに「チルト注意」と「←」



日本通運がアサヒロジと出荷品を確認しながらパレットに積み替え養生する

郡山貨物ターミナル駅で、コンテナ車積み

